自己紹介

令和8年9月



氷見市地域おこし協力隊　9期生

（令和6年4月～）

ふせ　　なおき

布施　直樹

出身　大阪府茨木市生まれ

経歴　氷見市の前は京都府舞鶴市で農業をしていました

（万願寺甘とう、イチゴ、水稲他）

趣味　DIY、草野球（去年引退しました）

家族　妻と３人の子供がいます

活動場所・ミッション

①　宇波公民館
（宇波地域づくり協議会事務局）

②　宇波地域にあるみかん圃場



①宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

②地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化



①宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

- 先進地視察

①灘浦かんきつ研究会会員と和歌山県「秋津野ガルテン」に。

②富山県砺波市の「せんだんのHILL」と立山町の「釜ヶ渕みらい協議会」へ。



秋津野ガルテン



せんだんのHILL

①宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

・地域向けセミナーの企画

令和6年度「組織マネジメント研修会」

令和7年度「ファシリテーションセミナー」





①宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

・補助事業の申請

「美しい農村景観整備事業」

…耕作放棄地にみかんを植栽

「中山間チャレンジ事業」

…うなみんフェスティバル、仮称「宇波みかんの郷」他



耕作放棄地にみかんを植栽



みかん苗を配布

①宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

- 「宇波みかんの郷」プロジェクト

宇波地域の各世帯にみかんを植えてもらって、みかんの郷に。

令和6年度は70世帯、

令和7年度は71世帯が新植。





①宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

- 「灘浦みかん街道」プロジェクト

地域内の幹線道路沿いにみかんを植えてシンボルロードに。

令和6年度に18本、令和7年度に30本新植。

今後も延伸予定。





①宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

- 宇波地域づくり協議会だよりの発行

協議会だよりの創刊号と第2号、第3号、第4号、第5号の作成、発行。



1　2024年10月　第1号

宇波地域づくり協議会だより

宇波地域づくり協議会

7月17日　23名で岐阜県海津市に「南濃蔵出しみかん」の視察に行きました。

「宇波地域づくり協議会だより」の発行にあたって

宇波地域づくり協議会　会長　澤田邦夫

今年の夏は、記録的な暑さに見舞われましたが各位には、ますますご健勝のことと存じます。

また、本年元旦の能登半島地震では、宇波地域でも多くの家屋被災が発生し、今なお復旧・復興に努めております皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、当協議会では、安全で安心して住める自然豊かな地域づくりを進めるために「宇波地域づくり計画」を、令和６年３月に策定し、地区の皆様へ配布するとともに、氷見市にも提出しました。

計画初年度の主な事業として、

① ７月には灘浦ミカンの特産品化にむけた取り組みを進めるために灘浦かんきつ研究会と合同で岐阜県海津市への研修旅行を実施しました。

② 広報の発行（年２回を予定）

③ 防犯カメラを２基設置(CCZ 海岸の小境、大境トイレに設置)

これからも「宇波地域づくり計画」に沿って、各種事業を地域と一緒になって進めます。皆さんのご理解、ご協力をお願い致します。

宇波地域づくり協議会だより

－内容－

① 宇波地域づくり協議会
　会長　澤田邦夫　挨拶

② 今年度の予定
・役員会
　６月１日に第一回役員会開催
　８月３日に第二回役員会開催
・福祉健康部会
　社協だより「お元気ですか」参照
・ふれあい交流部会
　次年度以降のふれあい納涼祭開催に向けた話し合いを進める予定。
・防災防犯部会
　CCZ 海岸小境、大境トイレに防犯カメラを設置。
　令和６年能登半島地震アンケート結果
・産業振興部会
　仮称「オレンジロード」太陽光発電所設置に伴う植栽。
　岐阜県海津市南濃地区への「蔵出しみかん」の視察。
・総務部会
　「宇波地域づくり協議会」Facebook始めました。
　「結いネット」もよろしく！

③ 募集
　仮称「オレンジロード」名称を募集します。
　「宇波地域づくり協議会だより」の名称を募集します。

④ コラム
　みかんの豆知識「みかんは英語で何て言う？」

1　第1号



2　2025年4月

九殿浜開地の「灘浦みかん」と富山県越しの立山連峰

「灘浦みかん」を地域の特産品に

・産業振興部会

11月９日に第一回産業振興部会開催※役員会の項を参照

「(仮称)オレンジロード」プロジェクト

太陽光発電所が建設されるのに伴い、県道 70 号線沿いにみかんの苗木 18 本を植栽します。

今後、さらに植栽していく計画しておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

「(仮称)みかんの里宇波」プロジェクト

各戸１本ずつ、みかんの苗木の購入に対して補助を実施。今年度は 70 本の苗をご注文いただきました。３月末に入荷し、皆様にお渡しします。

来春も実施予定ですので、今回注文されなかった方も是非、植える場所を準備してご注文ください。お待ちしております。

「灘浦みかんスイーツ」試作

「灘浦みかん」を使ったスイーツ試作のために、有志の女性グループと専門家に来てもらい、打合せをしました。

また、「ふきのとうの会」に恒例のかき餅づくりで、「灘浦みかん」を練りこんだ「灘浦みかんかき餅」を作っていただきました。

今後も、試作品を作っていきたいと思っていますので、関心のある方は是非お声掛けください。

2　第2号

②地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化

・生産者組織「灘浦かんきつ研究会」の組織力強化

①規約改正

②出荷目揃え会の開催

③出荷要領の制定

④繁忙期に灘浦かんきつ研究会会員の作業をお手伝い



灘浦みかん出荷目揃え会



作業手伝い

②地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化

・みかん園の管理作業

①九殿浜園地のみかん園を、灘浦かんきつ研究会会員と一緒に、農薬や肥料の散布、摘果、草刈り等の共同作業を実施する。

②高齢等で管理出来なくなったみかん園の、管理作業を実施。



共同作業（収穫）



共同作業（農薬散布）

②地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化

・先進地視察

①地域づくり協議会役員と灘浦かんきつ研究会会員の総勢23名で、
　岐阜県海津市の南濃みかん（蔵出しみかん）の視察に行く。

②灘浦かんきつ研究会会員と和歌山県JAながみねと「秋津野ガルテン」に。

③福井県福井市「果樹園たにか」と、敦賀市の「下野長兵衛みかん園」に。



「蔵出しみかん」
貯蔵庫の様子



JAながみね　剪定講習会



果樹園たにか

②地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化

・灘浦みかんの生産に、新しい生産技術の試行

①白マルチ被覆による水分コントロール。

②地元の未利用資材である、魚加工残滓肥料（〆粕）、竹チップの利用。

③農薬の見直し（有機JAS適合農薬の試用）。

④新品種の導入検討。



魚加工残滓や竹チップを試用



白マルチ

②地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化

- 灘浦みかんの販路開拓

①直売所への出荷

②イベント開催（うなみんフェスティバル等）

③収穫体験の実施

④ロゴマーク、グッズの制作

⑤ロゴマークを商標登録

⑥専用の袋、箱等の制作



イベント出店



直売所へ出荷



収穫体験の実施



専用の袋、箱の制作

②地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化

- 灘浦みかんのPR活動
  - ①HIMI学で氷見高校生と連携
  - ②灘浦小学校体験学習
  - ③北部中学校で授業
  - ④メディア取材対応。



HIMI学で氷見高生と連携



灘浦小学校体験学習



北部中学校で授業

活動を通じて感じたこと…

① みんな仲良し、日々の暮らしに不満が無い（不安はある）が、未来に対するあきらめの気持ちがある…。

② 協議会の各組織が、まだ十分に機能しきれていない。

③ 灘浦みかんには可能性しか感じない。

④ 水稲の耕作者が、まさに今いない。（喫緊の課題）



今後やりたい事…

①宇波地域の耕作放棄地で、みかん栽培に適した圃場にみかんを植えて生産拡大したい。

②地域住民が本音で話し合える対話の場をつくり、多くの人が自由で活躍できる地域にしたい。

③継続的に事業（農業）を実施していくために、法人を立ち上げたい。